

令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

I 法人の概況

1 設立年月日 昭和61年1月17日

2 定款に定める目的

当公益財団法人は、静岡県における学校教育の振興並びに教育研究の高揚及び充実に図り、青少年の健全育成に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 静岡県内の幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校及び教育研究諸団体(以下「学校等」という。)で教育に関して優れた研究を行い、又は顕著な実績を挙げている学校等に対する顕彰及び奨励並びに助成。(幼稚園には幼保連携型認定こども園を含む)
- (2) 静岡県内の学校等で教育に関して優れた研究を行い又は顕著な実績を挙げている教職員の顕彰及び奨励並びに助成。
- (3) 教育に関する講演会・研修会・出版等の事業。
- (4) その他、当公益財団法人の目的を達成するために必要な事業。

4 所轄官庁

静岡県教育委員会 教育総務課

5 会員の状況

該当する会員はなし。

6 主たる事務所・支部の状況

主たる事務所 静岡県静岡市清水区辻一丁目1番1号

支部の状況 該当する支部はなし。

7 役員等に関する事項(令和4年3月31日現在)

(1) 理事

役職	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	他法人代表等
理事長	後藤 康雄	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
副理事長	宮崎 総一郎	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
常務理事	木内 藤男	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
理事	木苗 直秀	令和4年6月	非常勤	辞退	県教育長
理事	赤堀 文宣	令和4年6月	非常勤	辞退	静岡市教育長
理事	長谷川 了	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
理事	安倍 徹	令和4年6月	非常勤	15千円/回	前県教育長
理事	池谷 眞樹	令和4年6月	非常勤	15千円/回	前静岡市教育長
理事	花井 和徳	令和4年6月	非常勤	15千円/回	前浜松市教育長
理事	児玉 一記	令和4年6月	非常勤	15千円/回	元浜松市教育長
理事	服部 泰啓	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
理事	中西 勝則	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
理事	酒井 公夫	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
理事	後藤 加壽子	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
理事	後藤 佐恵子	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照

(2) 監事

役職	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	他法人代表等
監事	高木 雅宏	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
監事	大須賀 紳晃	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照

(3) 評議員

役 職	氏 名	任 期	常勤・非常勤	報酬等	他法人代表等
評議員	宮崎 文秀	令和6年6月	非常勤	辞退	県教育部参事兼県教委課長
評議員	本多 伸治	令和6年6月	非常勤	辞退	県教委課長
評議員	奥山 貴弘	令和6年6月	非常勤	辞退	県私学振興課長
評議員	奥村 篤	令和6年6月	非常勤	辞退	沼津市教育長
評議員	千葉 一道	令和6年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
評議員	北川 和彦	令和6年6月	非常勤	辞退	静岡市教委
評議員	石野 政史	令和6年6月	非常勤	辞退	浜松市教委
評議員	鈴木 藤一	令和6年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
評議員	香田 賢治	令和6年6月	非常勤	辞退	附属明細書参照

(4) 退任した役員等

氏 名	退任時の地位	退 任 日	退任理由
大石 剛	監事	令和3年4月19日	一身上の都合
大石 昌宏	評議員	令和3年6月16日	令和3年4月1日転任の為辞任
岡島 均	評議員	令和3年6月16日	令和3年4月1日転任の為辞任
野秋 愛美	評議員	令和3年6月16日	令和3年4月1日転任の為辞任

(5) 役員等の報酬

区 分	人 数	報 酬 等 の 総 額	備 考
理 事	15名	年間200万円を超えない	内、公務員2名は報酬辞退
監 事	2名	上記に含む	
評議員	9名	年間50万円を超えない	内、公務員他7名は報酬辞退

8 顧問及び選考委員等

(1) 定款第37条に基づき顧問を置く。

- ・ 3名、任期は特に定めない、非常勤。
- ・ 報酬：1回の出席につき、15千円、年間50万円を超えない。交通費等実費支払。

(2) 定款第54条に基づき委員会（選考委員会、選考準備委員会）を置く。

- ・ 各委員会ごとに7名～10名程度の委員を置く。非常勤。任期は2年、再任を妨げない。
- ・ 報酬：1回の出席につき、15千円、年間50万円を超えない。交通費等実費支払。

9 職員に関する事項（令和4年3月31日現在）

職 名 等	氏 名	就任月日	担当事務	備 考
事務局長	立花 毅	H 31. 3. 1	運営全般	各会議・委員会日程等調整
副事務局長	植屋 雅之	R 3. 3. 20	経理他	各事業支払、財務
事務局次長	望月 修次	H 27. 4. 1	事務方全般	事務局長補佐
広報担当 アドバイザー	後藤 すみれ	R 2. 4. 1	広報編集	広報全般アドバイザー
アドバイザー	竹川 暢昭	R 2. 4. 1	全般	教育関連アドバイザー (非常勤)
事務	佐藤 恵	H 26. 4. 1	一般事務	パート(常勤)
選考協力委員	6名	H30. 4. 1 ~ R3. 4. 1	資料作成等	顕彰事業手伝い(非常勤)

10 許認可に関する事項

- ・ 平成24年3月19日付け公益財団法人認定

法人コード:A005042、代表者:後藤 康雄、認定後名称:公益財団法人はごろも教育研究奨励会
所在場所:静岡市清水区辻一丁目1番1号。

- ・平成 27 年 3 月 26 日付け事業変更認定
「食育支援事業」「施設等拡充支援事業」の業務拡大に対応するため「教育関連事業に対する支援事業」を追加。
- ・令和 2 年 12 月 25 日付け事業変更認定
公益目的事業 I に「教職員等への安全・安心に係る教育活動に対する支援事業」を追加。

II 財団事業

1 事業の実施状況

(1) 教育研究助成事業

県内において有効適切な研究テーマを設定して、意欲的に教育研究に取り組もうとする学校等及び教育研究諸団体に対して、授与要項に基づいて助成金を授与し教育研究に対する助成を行った。

- ・令和 3 年 2 月 15 日「令和 3 年度(第 21 回)はごろも教育研究助成賞」の授与要項を県内の学校等並びに教育関係機関へ発送した(1,637 件)。
- ・令和 3 年 5 月 7 日 応募締切 応募総数は 66 件。
内訳 単年度は 50 件、複数年度は 16 件。
- ・令和 3 年 5 月 14 日～5 月 21 日 選考準備委員による受賞候補の予備選考を実施した。
- ・令和 3 年 6 月 1 日 選考委員・選考準備委員合同委員会で受賞候補の選考を実施した。
選考結果を理事長に報告し、助成賞 50 件が承認された。
内訳 単年度は 36 件、複数年度は 14 件。
- ・令和 3 年 7 月 16 日「令和 3 年度(第 21 回)はごろも教育研究助成賞」の授与式を予定したが新型コロナウイルスの影響で中止し、受賞校には賞状等を選考協力委員・事務局員にて各学校に持参した。

(2) 教育研究奨励事業

県内において優れた教育研究を行い、又は顕著な実績を挙げている学校等並びに教職員に対して、授与要項に基づき顕彰及び奨励を行った。

- ・令和 3 年 6 月 7 日 「令和 3 年度(第 36 回)はごろも教育研究奨励賞」の授与要項を県内の学校等並びに教育関係機関へ発送した(1,625 件)。
- ・令和 3 年 10 月 8 日 小中学校関係選考準備委員、選考協力委員事前打合せ実施。
- ・令和 3 年 10 月 29 日 応募締切 応募総数は 158 件。
内訳 学校賞は 15 件、グループ賞は 17 件、個人賞は 126 件。
- ・令和 3 年 11 月 10 日～令和 3 年 12 月 28 日 小中学校は、選考協力委員による事前予備選考審査報告を実施後、選考準備委員による予備選考実施。
- ・令和 4 年 1 月 21 日 選考委員・選考準備委員合同委員会の開催を予定したが、コロナ禍の影響で中止、緊急事態のため、理事長・選考委員長・選考準備正副委員長の出席にて開催。
選考結果を理事長に報告し、奨励賞 72 件が承認された。(選考委員からは選考結果の同意書の提出)
内訳 学校賞は 10 件、グループ賞は 10 件、個人賞は 52 件。
- ・令和 4 年 2 月 16 日「令和 3 年度(第 36 回)はごろも教育研究奨励賞」の授与式を予定したが新型コロナウイルスの影響で中止、学校賞・グループ賞受賞校には賞状等を選考協力委員・事務局員にて各学校に持参した。なお、個人賞については業者にて配送した。

(3) 『夢』講演会事業

学校等、教育研究諸団体や、児童生徒には、講話を通して学ぶ意欲や生きる力を育み、教職員には講演会や直接指導を通じ、資質や指導力の向上を図り、本県の学校教育の充実・振興と青少年の健全育成に寄与することを目的とした。

- ①令和 3 年度第 17 回はごろも『夢』講演会は、令和 2 年 11 月 30 日に応募を締切。応募数 69 件、開催回数 92 回となった。選考の結果、69 件、開催回数 92 件を採用した。
 - ・令和 3 年 4 月 1 日より令和 4 年 2 月までに 77 件 87 回が実施された。なお、今年度は新型コロナウイルスの影響で 5 回の中止。参加者数は年間延べ、14,780 人となった。
- ②令和 3 年 8 月 7 日 「令和 4 年度(第 18 回)はごろも『夢』講演会」の実施・応募要項を県下学校等並びに教育関係機関へ発送した(1,631 件)。
 - ・令和 3 年 11 月 30 日 応募締切 応募数は 65 件、開催回数は 82 回。
 - ・令和 3 年 12 月 10 日 選考委員会を開催、選考の結果、65 件 82 回を採用とした。

- ・令和3年12月16日 選考結果を理事長に報告し、原案通り承認された。
- ・開催実施期間は令和4年4月1日より令和5年2月末まで、視察予定は70回程度を見込む。

(4)「教職員の海外交流支援派遣」事業

教職員の「多文化共生教育」のための国際交流、姉妹都市交流等を支援することにより、青年の健全育成に寄与することを目的として行った。

本事業による支援は、県内を静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会、静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課が所管する区域に分けて個別に行う。

- ・支援対象は、派遣区域内の学校等及び教育委員会が行う海外交流事業。
- ・単年度の派遣者数は、24人以内、旅費と滞在費の補助は、1人につき50万円以内とする。

①令和3年度第11回教職員の海外交流支援派遣事業

- ・令和2年12月31日 第11回教職員の海外交流支援派遣者応募締切。
- ・令和3年1月21日 教職員の海外交流支援派遣者選考委員会開催、支援派遣候補者19名を選考。選考結果を理事長に報告し、原案通り19名の海外派遣者が承認された。静岡県教育委員会10名、静岡市教育委員会4名、浜松市教育委員会5名、静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課で0名(県私立幼稚園振興協会0名・県私学教育振興会0名)。
- ・令和3年度派遣者は、令和2年度に続き、新型コロナウイルスの影響で、派遣が困難と判断。令和4年度に延期をした。
- ・令和2年度派遣者20名、令和3年度派遣者19名、合計39名は、令和4年度に実施予定。

②令和4年度第12回教職員の海外交流支援派遣事業

- ・令和4年度の教職員の海外交流支援派遣者は、今後も新型コロナウイルスの状況の予想が困難と考え、令和4年度の募集は中止を決定した。(6月開催の理事会で承認)
- ・令和4年度派遣者は、令和2年度派遣者20名・令和3年度派遣者19名合計39名の派遣となる。今後の状況を踏まえ、派遣については慎重に対応する。
- ・令和5年度派遣者については、再開の予定。

(5)食育支援事業

本事業は、平成22年に県教育委員会が「学校における食育ガイドライン」で、学校における食育推進の重要性を発表したことを受け、当財団としても青少年の健全育成に寄与する大事な教育活動として捉え、学校の食育支援事業の推進の支援、助成を行う。

具体的には「直轄事業」として各教育委員会、教育研究諸団体に対し当財団が、主体的に講演活動等を行う。「支援事業」としては、講演会費の助成、設備費及び資料作成費等、学校給食における様々な要望に対して支援活動を行う。

①直轄事業（自主事業）

- ・計画、実施なし。

②支援事業

ア 静岡県教育委員会

- ・令和3年7月 食育啓発事業 書き込み式リーフレット作成費の助成。

イ 静岡市教育委員会

- ・計画、実施なし。

ウ 浜松市教育委員会

- ・令和3年9月 保存食用冷凍庫3台購入費の助成。
- ・令和4年3月 食育啓発クリアファイル 対象：小学生 作成費の助成。

エ 静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課

- ・令和4年1月 県私学協会 第11回私立中・高校生の料理レシピアイデアコンテスト費用の助成。

会場:11月16日ホテルグランヒルズ静岡 コンテスト入選者・各学校理事長他出席費用の一部助成。

(6)施設等拡充支援事業

本事業は、県下の教育機関等の施設等拡充支援要請を受け、公的教育機関の施設等拡充を図ることを目的とする。

①直轄事業（自主事業）

- ・計画、実施なし。

②支援事業

- ・計画、実施なし。

(7) 教育関連事業に対する支援事業

本事業は、平成27年より新設された事業で、県教育委員会、市教育委員会、私学協会等に関連する事業であり、県下教育施設の児童生徒、教職員に直接還元される支援事業である。

①直轄事業（自主事業）

・財団設立30周年記念事業（県教育委員会）

令和3年7月 県教育委員会事業の「ふじのくにグローバル人材育成基金」へ、平成28年度4千万円を拠出した。以降、毎年1千万円を令和4年度まで助成により、総額1億円の拠出を実施中。

・県教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会

令和3年7月 35周年追加支援事業 教職員の教職大学院2年制派遣者の2年目進学時の助成。（新規助成1人10万円）

・NPOキッズアートプロジェクトしずおか（県教育委員会義務教育課）

令和3年9月 ミュージアムパスポート作成費の助成。

・ふじのくに地球環境史ミュージアム（県スポーツ・文化観光部）

令和4年3月 連続講座・オムニバス授業 計12回講座開催費用他の助成。

・公益財団法人 徳川記念財団（県教育委員会義務教育課他）

令和4年1月 徳川家康公顕彰作文コンクール費用の助成。（令和3年度より優秀作品新聞掲載）

②支援事業

ア 静岡県教育委員会

・令和3年5月 人権教育推進関連事業「令和3年度静岡県人権教育の手引」作成費の助成。

・令和3年6月 特別支援学校働き方改革等推進事業 日常的な医療支援を行う看護師を募るチラシ作成費の助成。

・令和3年7月 教職員の教職大学院派遣者への支援（1人10万円助成）

・令和3年9月 親学講座事業 生活習慣や規範意識等の家庭教育を啓発するクリアファイル作成費の助成。

・令和3年10月 特別支援学校働き方改革推進事業 聴覚特別支援学校における教育相談に係る研修等の研修費の助成

・令和3年12月 静岡県高等学校ビブリオバトル事業 広報用リーフレット作成費の助成。

・令和3年12月 発達障害等の生徒支援事業・高校特別支援教育研究事業支援の研修費助成。

・令和3年12月 教員免許状更新講習への補助事業 学校に任用される者を対象にした免許更新時に必要な大学講習に要する費用の一部を補助。（法人会計処理）

・令和4年2月 英語教育推進事業 TOEIC L&R IP 受験料及び自主学习教材等の助成。

・令和4年2月 教職員の海外派遣研修（アントレプレナーシップ研修）

教員の課題発見・課題解決・企画・提案力等の向上に向けたアントレプレナーシップ式研修費用の助成。（今年度は海外派遣が困難と考え国内にて実施）

・令和4年3月 人権教育推進関連事業「令和4年度静岡県人権教育の手引」作成費の助成。

・中止 日中青年代表交流発展事業 参加者14名の費用半額の助成。

イ 静岡市教育委員会

・令和3年5月 授業改善支援資料VI作成費の助成

・令和3年7月 教職員の教職大学院派遣者への支援（1人10万円助成）

・令和4年2月 しずおか学副読本作成費の助成。

・中止 グローカル教育推進事業 海外旅費の助成

ウ 浜松市教育委員会

・令和3年7月 教職員の教職大学院派遣者への支援（1人10万円助成）

エ 静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課

・中止 県私学協会 保護者会総会記念講演会講師料の助成。

(8) 教育研究啓発事業

教育研究の啓発に資するため、令和2年度（第35回）奨励賞及び令和2年度（第20回）助成賞の各受賞者の研究成果を「受賞者研究成果集」として編集し、令和3年6月に1,625件、また令和2年度（第16回）はごろも『夢』講演会実施報告書を編集し、令和3年8月に1,631件を県内学校等及び教育関係機関に発送。また、奨励賞個人賞受賞者及び『夢』講演会各講師に送付。

(9) 学校訪問

今後の事業運営の参考に資するため学校訪問を行った。

①はごろも教育研究助成賞受賞校 10 校視察

・ 浜松学芸中学校・高等学校	訪問日	令和 3 年 10 月 2 日
・ 静岡県立吉田特別支援学校	訪問日	令和 3 年 10 月 12 日
・ 静岡市立清水第三中学校	訪問日	令和 3 年 10 月 13 日
・ 静岡市立清水有度第二小学校	訪問日	令和 3 年 10 月 14 日
・ 富士宮市立芝富小学校	訪問日	令和 3 年 10 月 15 日
・ 沼津市立静浦小中一貫学校	訪問日	令和 3 年 10 月 15 日
・ 浜松市立村櫛幼稚園	訪問日	令和 3 年 10 月 18 日
・ 浜松市立豊岡幼稚園	訪問日	令和 3 年 11 月 18 日
・ 静岡県立浜松湖東高等学校	訪問日	令和 3 年 11 月 18 日
・ 静岡県校長会	訪問日	令和 3 年 11 月 19 日

②令和 3 年度(第 17 回)『夢』講演会視察実施、77 件 87 回開催。新型コロナウイルスの影響で 5 回が中止。選考協力委員による視察は 72 回実施。

『夢』講演会実施会場視察(令和 3 年 4 月～令和 4 年 2 月)は選考協力委員 6 名で実施。

2 重要な契約に関する事項

令和 3 年 8 月 2 日 本年も引き続き双研日栄監査法人による当財団の業務及び会計について同社と監査契約を締結。

契約目的：令和 3 年度(第 37 会計年度)会計監査。

3 役員会等に関する事項

(1) 理事会

①理事会決議の省略「みなし決議」

決議のあったとみなされる日 令和 3 年 5 月 13 日(木)

議 案 評議員会の招集事項の承認

②令和 3 年度第 1 回通常理事会

開催日時 令和 3 年 6 月 1 日(火) 13:00～14:15

開催場所 ホテルグランヒルズ静岡

報告事項 職務執行状況報告、令和 3 年度(第 21 回)教育研究助成賞受賞者報告、令和 2 年度(第 10 回)～令和 4 年度(第 12 回)教職員の海外交流支援派遣事業報告、令和 3 年度(第 17 回)『夢』講演会報告、令和 2 年度基本財産等運用報告、「株主の権利の行使」承認の各報告。

審議事項 令和 2 年度事業報告・決算報告案、会計監査人の報酬額案、役員退任者への慰労記念品贈呈案、令和 3 年度定時評議員会開催及び議案の各承認。

③理事会決議の省略「みなし決議」

決議があったとみなされる日 令和 3 年 6 月 22 日(火)

議 案 はごろもフーズ(株)第 92 期定時株主総会において、原案に賛成の議決権の行使の承認。

④令和 3 年度第 1 回 臨時理事会

開催日時 令和 3 年 11 月 9 日(火) 9:40～10:45

開催場所 ホテルグランヒルズ静岡

報告事項 令和 3 年度上期職務執行状況報告、令和 3 年度事業検討委員会報告書(答申)の各報告。

審議事項 教職大学院派遣者の追加支援事業案、徳川家康公顕彰作文コンクール追加支援事業案、県教育委員会人権教育推進関連事業追加支援事業案、令和 3 年度収支予算第 1 次補正予算案、顕彰規程改定案、令和 4 年度(第 22 回)助成賞授与要項案、令和 4 年度(第 37 回)奨励賞授与要項案、令和 5 年度(第 19 回)『夢』講演会実施・応募要項案、令和 5 年度(第 12 回)教職員の海外交流支援派遣実施要項案の各承認。

⑤令和 3 年度第 2 回通常理事会

開催日時 令和 4 年 2 月 16 日(木) 10:35～12:05

開催場所 ホテルグランヒルズ静岡

報告事項 令和 3 年度下期職務執行状況報告、令和 3 年度(第 36 回)奨励賞受賞者報告、令和 4 年度(第 18 回)『夢』講演会企画採用者報告。

審議事項 特定費用準備資金計上案、令和3年度第2次収支補正予算案、令和4年度基本財産運用計画案、令和4年度事業計画案、令和4年度収支予算案、令和4年度日程案の各承認。

(2) 評議員会

① 評議員会決議の省略「みなし決議」

決議のあったとみなされる日 令和3年5月21日(金)

議案 監事1名選任の件。

② 令和3年度定時評議員会

開催日時 令和3年6月16日(水) 14:30~15:25

開催場所 ホテルアソシア静岡

報告事項 令和2年度事業報告、令和3年度事業計画、令和2年度(第10回)~令和4年度(第12回)教職員の海外交流支援派遣事業報告。

審議事項 令和2年度決算案、令和3年度会計監査人の選任案、評議員の選任案の各承認。

4 収支及び正味財産増減並びに財産の状況の推移

(単位：千円)

事業年度	平成30年3月期	平成31年3月期	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期
前期繰越収支差額	20,156	17,870	18,752	17,913	18,088
当期収入合計	185,896	172,939	169,051	243,733	230,357
当期支出合計	188,182	172,057	169,890	243,558	203,360
当期収支差額	-2,286	882	-839	175	26,997
次期繰越収支差額	17,870	18,752	17,913	18,088	45,085
資産合計	3,675,048	3,692,941	3,712,825	3,718,478	3,794,907
負債合計	3,270	1,561	1,918	2,704	3,591
正味財産	3,671,778	3,6791,380	3,710,907	3,715,775	3,791,316

Ⅲ 法人の留意点と課題

1 事業運営上の留意点と課題

(1) 平成24年4月1日公益財団法人に移行、平成27年度は財団設立30周年を迎え、静岡県教育委員会が平成28年度より実施の「ふじのくにグローバル人材育成事業」に、30周年記念事業として、平成28年度は4千万円、以降令和4年度まで毎年1千万円、総額1億円の拠出案を平成27年度第2回理事会(平成28年2月16日開催)にて承認を得る。

(2) 公益財団法人に移行後、支援要請による直接支援事業が多岐となったため、平成27年度より、変更認定申請の承認を受け追加事業「教育関連事業に関する支援事業」を加えた。結果として、事業の拡充が図られ、よりきめの細かい、各教育現場の支援が可能となった。

(3) 各顕彰事業

① 「奨励賞」事業 令和元年度は137件、令和2年度は178件、令和3年度は158件と若干減少。

② 「助成賞」事業 平成22年度第10回より、複数年度を創設し、99件の応募があったが、令和元年度は60件、令和2年度は66件、令和3年度は66件と前年並み。

<対策> 上記課題に対し、従来よりHPや年間の事業チラシを作成、配布してPR活動を実施している。平成25年3月からは、毎年、各校長会及び教育センター等の教育機関へ事業チラシの直接配布を実施、また、広報「はごろもの風」の平成27年4月号からは、事業チラシ3000部を折込み、学校等、教育研究諸団体へ配布をしている。また、令和2年度より事業ポスターを作成し一緒に配布。

③ 「『夢』講演会」事業 平成28年度には、より多くの応募を募るため、助成金額を20万円から15万円としたが、応募の増加が見こめず、学校が希望する講師を呼びやすくするために、令和3年度(第17回)より助成金額を20万円に戻した。平成30年度は応募件数90件、開催件数118回(全て採用)、令和元年度は応募件数83件(採用82件)、開催件数106回(採用105回)、令和2年度は応募件数82件、開催件数113回(全て採用、コロナ禍の影響で41回が中止)、令和3年度は応募件数69件、開催回数92件(全て採用、コロナ禍の影響で5回が中止)に留まり広がりが見られない。学校がコロナ禍の影響で開催を躊躇している傾向が見られるため、今後の動向を見据えながら、応募件数の増加を図る。

④「教職員の海外交流支援派遣者」事業 教職員の「多文化共生教育」のための国際交流、並びに姉妹都市交流等を支援することにより、互いの言語や文化などの価値観の違いを理解し、良好な人間関係を大切に作る青少年の健全育成に寄与することを目的として、平成 23 年より実施。平成 29 年 3 月に告示された新学習指導要領が小学校では令和 2 年 4 月より全面実施され、英語が教科化され、グローバル化の進展や、多文化共生教育の推進をすべての教職員に求めており、当事業の必要性が高まっている。派遣人数の増加も含め、事業の拡充を課題として、平成 30 年 8 月開催の平成 31 年度事業検討委員会で検討、派遣人数を 13 名から 24 名への増加を理事会に提案、承認を得る。

⑤「食育」「施設等拡充」「教育関連事業」の各支援事業は、県内各教育委員会及び私学協会等からの支援要請に基づき審査を行い、具体的に助成、教育の充実を図ることが目的であり、各団体の支援要請に対し支援をするため、公正・公平性の維持に努める。

<対策> 要請内容が妥当かどうか検討し、事業検討委員会及び選考委員・選考準備委員合同委員会にて其々の内容を検討、審査、理事長の了解を得て予算化を計り、理事会の承認を得る。

2 事業運営財源の留意点と課題

事業運営財源の大半をはごろもフーズ(株)株式の配当金に依存しており、現状は安定している。しかしながら、不安定な経済状況の中では、これまで以上に基本財産の維持に努め、安全で効率的な運用を図る。

IV 株式の 20%以上を保有している営利企業の概要

1 名称

はごろもフーズ株式会社

2 事務所の所在地(本店所在地)

静岡市清水区島崎町 151 番地

3 資本金等

144,166 万円

4 主な事業内容

缶詰・レトルト食品・ギフトセット・パスタ・パスタソース・花かつお・海苔・ふりかけなどの各種食品の製造販売

5 役員の数及び代表者の氏名(令和 3 年 6 月 25 日現在)

(1) 役員の数 取締役 16 名 監査役 5 名

(2) 代表者の氏名 後藤 康雄(代表取締役会長) 後藤 佐恵子(代表取締役社長)

6 従業員の数(令和 3 年 3 月 31 日現在)

721 名

7 当財団法人が保有する株式数及び当該営利企業の総株式数に占める割合

(1) 当財団法人の保有株式数 4,391,715 株

(2) 当財団法人の持株比率 46.67%

8 保有する理由

当財団法人が設立された際、はごろもフーズ株式会社の役員から財団事業の運営資金に資するために寄附されたものであり、その後も役員からの寄附や株主割当増資等により持株数も増加した。この配当金収入を教育研究奨励事業等の資金として活用するためである。

9 当該株式の入手日

昭和 61 年 6 月 30 日

10 当財団と当該営利企業との関係(人事、資金、取引等)

(1) 当財団法人は、はごろもフーズ株式会社が創業 55 周年を迎えた際、顧客をはじめ関係各位のご恩顧に報いるために、利益の一部を社会に還元しようと基金を拠出して、県内の教育研究を奨励し教育研究の一層の高揚と充実を目的として設立されたものである。

(2) 当財団の役員として、同社の代表取締役会長、代表取締役社長が理事として就任している。

(3) 資金、取引等についての関係はない。

V 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

決算期後に当財団法人の収支や正味財産の状態に重要な影響を及ぼす事実はなし。

事業報告の附属明細書

1 役員等の他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況 令和4年3月31日現在

区分	氏名	兼職先法人等	兼職の内容	備考
理事長	後藤 康雄	はごろもフーズ(株)	代表取締役会長	
副理事長	宮崎 總一郎	清和海運(株)	代表取締役会長	
常務理事	木内 藤男	木内建設(株)	代表取締役会長	
理事	木苗 直秀	静岡県教育委員会	教育長	
理事	赤堀 文宣	静岡市教育委員会	教育長	
理事	長谷川 了	(公社)静岡県私学協会	理事長	
理事	安倍 徹	学校法人 沼津学園	学園長	前静岡県教育長
理事	池谷 眞樹			前静岡市教育長
理事	花井 和徳			前浜松市教育長
理事	児玉 一記			元浜松市教育長
理事	服部 泰啓	学校法人 信愛学園	理事長	前県私学協会会長
理事	中西 勝則	(株)静岡銀行	代表取締役会長	
理事	酒井 公夫	静岡鉄道(株)	代表取締役会長	
理事	後藤 加壽子	料理研究家		
理事	後藤 佐恵子	はごろもフーズ(株)	代表取締役社長	
監事	高木 雅宏	静岡市文化振興財団	理事長	元静岡市教育長
監事	大須賀 紳晃	(株)静岡新聞社	代表取締役社長	
評議員	宮崎 文秀	静岡県教育委員会事務局	教育部参事兼 義務教育課長	
評議員	本多 伸治	静岡県教育委員会事務局	高校教育課長	
評議員	奥山 貴弘	静岡県スポーツ・文化観光部 総合教育局	私学振興課長	
評議員	奥村 篤	沼津市教育委員会	教育長	
評議員	千葉 一道	(一社)静岡県私立幼稚園振興協会	理事長	
評議員	北川 和彦	静岡市教育委員会教育センター	所長	
評議員	石野 政史	浜松市教育委員会学校教育部	指導課長	
評議員	鈴木 藤一	(公社)静岡県私学協会	事務局長	
評議員	香田 賢治	はごろもフーズ(株)	理事総務部長	

2 その他の記載事項

他、事業報告の内容を補足する重要な該当する記載事項はなし。